

東北大

きょうかん

発行
東北大学教育学部
関東地区同窓会
事務局
〒112-0006
文京区小日向 2-25-6
(鬼 宗久方)
電話 03-3944-0450
FAX 03-3944-4132
onim4771@kkf.biglobe.ne.jp

会長 笹川智恵子

会長二期目にはいりました。日頃の皆さま方のご協力に感謝申し上げます。昨秋の総会には、来賓の教育学部長細川徹先生、東洋大名誉教授の藤木三千人先生、仙台支部の岡崎忠氏、関口隆氏を含め、総勢四十四名が出席。筑波技術大学学長の大沼直紀先生の講演「長寿と聞こえのケア」は、聴覚障害とその保障などについてビジュアルに説明していただき、高齢社会に切実な内容でした。第二部の懇親会は、現在も合唱の現場でご活躍のメンバーによるリードのもと、学生歌や「荒城の月」を歌いあげて、気分よくお開きとなりました。

さて、今春から学部長に昭和五十二年教育行政をご卒業の宮腰英一先生がご就任。四月十八日の理事會に家根様と私とで出席いたしました。十月十日には学部創立六十周年記念行事が行なわれ、関東支部からも七名が参加。式典では、永年にもたり同窓会活動にご貢献くださいました江川亮先生が表彰をお受けになりました。

また、ご存じのように大学創立百周年を機に、平成十九年十月、全学

同窓会の発展的改組による東北大学校友会（公募の結果、今年六月に「東北大学校友会」と改称）が誕生。校友会関東支部の第一回会合が八月二日にもたれました（詳細は堀籠副会長の報告をお読みください）。

このように、同窓会の活性化と「東北大学コミュニティ」（交友会設立趣旨）への連帯が要請されています。さしあたっては、若い世代の同窓生の開拓などが課題としてあります。当支部としましても、皆さま方との連携を深めつつ、できる範囲で新しい同窓会像を探っていくことかと思っております。この臨時号もそのひとつとなれば幸いです。来年秋の総会でまた、お目にかかりましょう。

（教育哲学69年卒 埼玉県狭山市在住）



（第十回総会 細川学部長をお迎えして）

東北大学二〇二周年関東交流会報告 副会長 堀籠英夫

関東地区にお住まいの東北大学卒業生と在校生の保護者の皆様を対象とした「東北大学二〇二周年関東交流会」が、八月二日（日）東京丸の内にあるサピアタワー内で開催されました。

在校生の保護者百数十人を含む三百名を超える方々が参加され、井上東北大学総長・東北大学校友会会長のご挨拶に始まり、北村東北大学副学長・東北大学校友会理事より東北大学の現況説明、さらに野家東北大学理事・東北大学校友会代表より校友会の活動紹介がありました。続いて、二人の東北大学教授（Distinguished Professor）による講演が行なわれました。

① 佐藤教授 演題「人間関係は犯罪を防げるか？ 東京を事例にして」

② 内田教授 演題「画像エレクトロニクスが拓く近未来社会」

何れも時宜を得た興味深いテーマであり、ご参加の皆様の拍手喝采を浴びていました。講演会終了後、引き続き懇親會が催され、大学関係者、同窓生、在校生の保護者、合わせて百数十名が参加され、和やかに懇談

されました。

昨今殆どの情報はNETで入手できる時代ですが、FACE TO FACEで懇談しながら入手できる情報は量的にも質的にも違います。最近のIT技術を以ってしてもニュアンスや雰囲気は伝達できません。毎年関東交流会が開催されると思いますので、次回にはより多くの同窓の皆様が参加されますようお願いいたします。

なお、交流会で紹介があった内容の多くは、東北大学ならびに東北大学校友会のHPやメルマガでご覧いただけると思いますので、そちらをご覧ください。

同窓生の声

若林 滋

関東引き上げが未だ実現せず北辺に馬齢を重ねています。皆様のご多幸を祈念いたします。

(教育哲学59年卒 北海道札幌市在住)

古橋 康子

いつも欠席で申し訳ありません。

笹川さんのご活躍拝読しうれしく思っています。又の機会にお会いしたいと思っております。

(教育哲学69年卒 神奈川県横須賀市在住)

小林 昭文

お手伝いきちんと出来ず申し訳ございません。ご盛会をお祈りいたします。

(教育哲学76年卒 東京都小平市在住)

家根 敏明

目出たく後期高齢に突入。新境地で新人類への変身が楽しみです。

川柳『柳事片々』

家根 一星

- ☆テポドンが平和の海に突き刺さり
- ☆核の知恵あつて平和の知恵はなく
- ☆解散を待つ敵失は蜜の味
- ☆品格を磨けど資格にはならず
- ☆エコカーに未来を学ぶキャデラック
- ☆天下り危ない橋を掛け直し
- ☆大不況地球は青くなるばかり
- ☆金融は融けて三途の川となる
- ☆自殺する程の夢無く蒸かし芋
- ☆釣りバカやマグマが潜む駿河湾
- ☆アラフォーに磨きがかかる初仕事
- ☆老愁やホロコーストの霧の中
- ☆九条を迷う愚かな国となり

☆満天に偉人地上は枯れすすき

(教育社会学57年卒 東京都世田谷区在住)

太田 武久

「仙台を訪ねる旅」お世話になりました。大変良い思い出になりました。四人のクラスメートにも会い同級会も出来ました。今後よろしく願います。

(教育社会学60年卒 栃木県足利市在住)

堀籠 英夫

「教育に飽和点はない」に引かれて半世紀

教育学を専攻して教育関係の仕事にも就かず、社会人になってから間もなく半世紀になろうとしている。しかし、振り返ると教育の重要性を認識しつつ現在完了進行形で、今に至っていることに満足している。想えば、社会人になって初めて接した研修用教材(当時はほとんど英文であった)の表紙に「There is no Saturation point in Education」(教育に飽和点はない)とあった、しかも全ての教材に記載されていた。この言葉に接した時の心ときめきを今でも鮮明に覚えている。ITの世界(当時はこの言葉はな

かったが)に入り今日まで未だ仕事を続けられているのは、この言葉に因るところが大きいと思っている(働くことしか能のない高齢者?)。

技術進歩の著しいITの世界では、気を抜いていると瞬く間に浦島太郎になってしまう。お陰でポケル暇もなく(?)元気に過せているのは、この言葉の信者になったからかもしれない。

この会社は東北大学と年齢がほぼ同じ(東北大学は一〇二歳、この企業は間もなく一〇〇歳)、企業三〇年説が言われる中で、驚異的に長命なのは企業内にこの言葉が浸透しているからであろう。

子や孫たちにもこの言葉の重要性を伝えたいと思っている。

(教育社会学61年卒 神奈川県横浜市在住)

石塚 米子

何とか元気でおります。ご盛会を祈ります。

(教育社会学61年卒 神奈川県平塚市在住)

大野 忠

ご案内ありがとうございます。ご盛会でありますよう祈り上げます。

(教育社会学61年卒 静岡県静岡市在住)

北森義明

仕事の都合がつかず出席できません。ご盛会を祈ります。
(教育社会学63年卒 東京都西東京市在住)

清水勝夫

病気の為欠席させて頂きます。
(教育社会学63年卒 神奈川県横浜市在住)

杉浦洋一

今年九月で古希を迎えました。相変わらず社会保険労務士事務所に勤務しています。
(教育社会学63年卒 東京都立川市在住)

西村孝雄

この年(69才)になって、社会福祉士(国家試験)の資格をとりました。今後の人生に有効活用したいと思います。地域では保護司もやっています。
(教育社会学63年卒 東京都中野区在住)

鈴木俊之

丕子

都合により欠席いたします。ご盛会をおのりいたします。
(教育社会学65年卒 神奈川県横浜市在住)

中林勝男

私立医科大学の経営改革に全力をあげています。用務のため失礼いたしますが、ご盛会をお祈りいたします。
(教育社会学65年卒 東京都中野区在住)

中川典雄

地元仙台に戻り、はや一年経過。五月の関東部会の仙台交流会に参加。同窓会活動の良さを味わいました。十月の東北大ホームカミングデーに参加、仙台に定着し、「第二の人生」に悪戦苦闘中です。関東部会の継続的活動を仙台から祈念いたします。
(教育社会学66年卒 宮城県仙台市在住)

星 永揚

あらためて数えてみると大学を卒業して四十三年。体力、記憶力の衰えを痛感させられる場面が確実に増大している昨今ですが、元気で生まれ育った仙台、懐かしいです。先日、暮参り帰省しましたが、街の発展・変貌ぶりには目を見張られます。
(教育社会学66年卒 埼玉県さいたま市在住)

今野勝利

幹事役毎度ご苦労様です。ご盛会を祈念申し上げます。
(教育社会学67年卒 千葉県流山市在住)

佐久間孝正

翌日早朝より秋季入試採点業務のため失礼いたします。
(教育社会学67年卒 東京都西東京市在住)

齋藤貞夫

誠に残念ながら、確定している旅行日程と重なり出席できません。盛

会をお祈りいたします。
(教育社会学68年卒 茨城県龍ヶ崎市在住)

菅野 正

定年退職して丸二年になります。読書と水泳に励んでいます。
(教育社会学69年卒 東京都文京区在住)

佐々木昭美

二つの職場を卒業して、昨年小さな会社を起業し、第三のライフワークを楽しんでいます。
(教育社会学72年卒 埼玉県さいたま市在住)

下坂節男

四月から京都で仕事をしております。その関係もあってしばらく出席できません。皆さんによりしくお伝えください。
(教育社会学74年卒 京都府京都市在住)

津吹 茂

いつも欠席で申し訳ございません。別途維持会費は払込ませていただきます。
(教育社会学74年卒 神奈川県相模原市在住)

齊藤嘉明

ご案内頂きありがとうございます。七五年卒業と同時に(株)プリジストンに入社し、早いもので後三年半で六〇才定年到達です。'75年卒業生の関東地区在住者は何名位いるでしょうか？(可能であれば年次別同窓会を企画したいものです。)

(教育学部'75年卒 東京都港区在住)

《事務局より》

会員名簿に登載されている一九七五年卒業の関東地区在住者は社会学が七名、哲学が一名、行政が二名、心理学が六名、心身障害学が六名で、合計二十二名です。事務局では年次別同窓会の開催をご支援したいと思えます。

鈴木英一

国家公務員として地方の出先ばかり転々としていると、中央の方の「天降り」だの「政管のゆ着」だのといったことをついつい他人事のように捉えてしまいがちです。それではいけません、と、「全体の奉仕者」とは何かを改めて考え直す今日この頃です。

(教育学部'88年卒 埼玉県さいたま市在住)



(懇親会で藤木三千人名誉教授のご挨拶)

赤間啓介

仙台を訪ねる会では大変お世話になりました。お陰様で久しぶりに楽しい思い出を作ることができました。今回は他に予定があつて参加できません。ご参会の皆様には宜しくお伝え下さい。

(教育学部'55年卒 栃木県小山市在住)

木村正次

平成十七年秋 瑞宝中綬章を受章しました。

(教育学部'58年卒 千葉県船橋市在住)

須貝幸雄

ご連絡有難うございました。申しわけございませんが欠席いたしました。ご盛会をお祈り申しあげます。

(教育学部'58年卒 東京都練馬区在住)

清水俊雄

なかなか出席できませんが、よろしく願っています。

(教育学部'59年卒 群馬県前橋市在住)

太田智朗

NHKを定年退職後、私立大学の教授、法人本部長、副理事長職を来春三月三十一日をもって定年退職いたします。

十五年間、教育行政そのものを実践できたことは幸いです。女子硬式野球部を大学ではじめてつくり、こゝとは日本一になりました(高校、大学、社会人クラブなど)。維持会費納入の中に懐かしい名前が思い出されましたからみなさんの名前がよくわかります。

(教育学部'60年卒 神奈川県鎌倉市在住)

斎藤哲至

この度は「学びの故郷 仙台を訪ねる旅」に参加させていただき、本当に懐かしく、また楽しいひと時を過ごさせていただきました。心から感謝申し上げます。

(教育学部'62年卒 福島県福島市在住)

羽尾和夫

通知ありがとうございます。ただ小生、羽尾ですが、羽根になっていました。名簿をもう一度確認していただき、訂正してほしいと思います。要望として、関東地区とある以上、会員の出席できる曜日、時間で設営してもらいたい。勤務五時まで、物理的にも東京市ヶ谷へは不可能。どうしてみんなが出席できやすい土・日にならないのか以前から気になっていました。東京で開催には異論ありませんが、首都圏以外の会員が少数とは言え、余裕を持ってできる条件整備を是非とも検討していただければ……。

(教育学部'69年卒 群馬県伊勢崎市在住)

《事務局より》

大変失礼いたしましたすみませんでし

た。名簿を訂正いたしましたので、ご容赦ください。

また、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

福田昭夫

解散総選挙が未確定のため出席することができません。みなさんによりしくお伝え下さい。

(教育学71年卒 栃木県日光市市在住)

星 幸雄

毎日仕事に終われる中、会報を拝見し、大学のことを思い出しました。多忙のため出席できません。よろしくお願いします。

(教育学73年卒 茨城県笠間市在住)

鈴木健一

いつもご連絡いただき有難く存じます。今年より栃木県総合教育センターに勤務しており、教員研修等で学生時代のテキストまで引き出す日々です。

(教育学73年卒 栃木県下野市在住)

浅野良一

平成十九年度に兵庫教育大学に移りました。平成二十年度から、教職大学院の学校経営コースで、主に現職教員を対象に指導しています。ご盛会をお祈りいたします。

(教育学78年卒 神奈川県横浜市の在住)

土井宏晃

静岡高校 教頭二年目です。元気でやっています。

(教育学81年卒 静岡県磐田市在住)

杉浦英樹

一九九五（H・七）より千葉県浦安市より本地に移り、教員養成の場におります。「関東地区」ということですが名簿上よろしければそのままにしておいて頂き、老後にも皆様と語り合わせてもらえれば幸いです。

(教育学83年卒 新潟県上越市在住)

中島洋明

お世話になっております。高校（県立館林女子高校）に勤務しております。

す。当日は出張（生徒指導に係る会議）のため出席することができません。申し分けございません。

(教育学85年卒 群馬県太田市在住)



(江川初代会長からご挨拶)

江川 亮

二年に一回の総会が10回目になりますか。感無量。

(教育心理学55年卒 神奈川県横浜市在住)

斎藤忠志

当日は勤務先（愛知学院大学）で授業、教授会がありますので：（深夜帰宅）。

(教育心理学61年卒 神奈川県横浜市在住)

奥泉英夫

今までまだまだ若いと思って走り続けてきたように痛感しています。古希を迎え、体力・気力に相応したことを求めて、週一日〜二日働いています。ご盛会をお祈りいたします。

(教育心理学61年卒 群馬県前橋市在住)

平山輝美

いつもご連絡ありがとうございます。

(教育心理学63年卒 埼玉県新座市在住)

会田元明

国際医療福祉大学を二十一年三月で定年退職することになりました。これまでの講義のまとめとして左記の図書を二十一年二月に出版しますので教育相談カウンセリング・ケースワークに関連のあるお仕事の方に一読頂ければ幸いです。

『子どもと向かい合うための相談援助の演習』 ミネルヴァ書房（H21年2月）

(教育心理学67年卒 栃木県宇都宮市在住)

菅田美紀子

総会のお知らせありがとうございます。ごさい
ます。

しばしば帰仙しています。先日は
東北大学キャンパスを一周しまし
た。今日の基礎を作ってくれた教育
学部の四年間は大切な思い出です。

(教育心理学67年卒 千葉県柏市在住)

佐藤良子

「きょうかん」を楽しく読ませて
いただきました。

(教育心理学69年卒 神奈川県横須賀市在住)

吉村葉子

いつもお世話になっております。
出席したいのですが、仕事の都合で
難しくなりました。これからもし
くお願い致します。

(教育心理学76年卒 東京都東久留米市在住)

土井千佳子

県の教育センターでの勤務も七年
目となりました。元気でやっております。
ます。

(教育心理学81年卒 静岡県磐田市在住)

小滝 威

ご連絡ありがとうございます。当
日、夜まで仕事の予定で出席するこ
とができません。ご盛会をお祈りい
たします。

(教育心理学85年卒 栃木県大田原市在住)

吉田恵子

東北大出身の高校教諭とOBで、
「山梨あおば会」という同窓会を毎
年開いています。会の盛会を祈念し
ております。

(教育心理学86年卒 山梨県甲府市在住)



(懇親会 お元気で…)

庄司光徳

昨年心筋梗塞で倒れ、一応回復し

ましたが、半人前になってしまいま
した。遠く皆様のご健闘を祈ってい
ます。ご連絡まで…。

(心身障害学56年卒 長野県麻績村在住)

佐藤秀一

お世話になります。ご苦労様です。

(心身障害学56年卒 神奈川県厚木市在住)

小原弘三

ノーベル賞のニュースに、我々が
田中さんも、もう何年になるので
しょう。「一介のエンジニア」と何
てったってキラキラした若さが一番
でした。東京での記念講演会では、
終了と同時にサッサと降りてしまっ
て、折角用意の花束が宙に浮いてし
まったシーンをほほえましく思い出
します。

(心身障害学57年卒 東京都多摩市在住)

山森伸子

盛会をお祈り申し上げます。おか
げさまで卒業後三〇年が経ちまし
た。

(心身障害学78年卒 神奈川県川崎市在住)

細淵富夫

大沼先生のご講演をさききたいとこ
ろですが、仕事があり残念です。

(心身障害学79年卒 埼玉県さいたま市在住)

相澤純一

いつもご案内ありがとうございます。
現在、東京都立墨東特別支援学
校(肢体不自由)勤務です。

(心身障害学82年卒 東京都大田区在住)

濱田豊彦

大沼先生のご講演が聞けず残念で
す。盛会となりますことをお祈り申
し上げます。

(心身障害学92年卒 東京都江東区在住)



(筑波技術大学学長大沼直紀氏のご講演)

佐藤邦男

いつも欠席で申し訳ない。年金生活で細々ボランティア活動をしている日々です。障害者や年寄りらが受難の年にならないよう祈っている昨今です。

(学校教育学54年卒 埼玉県さいたま市在住)

野崎 智

お世話様です。お陰様で小生何とか無事に過ごしています。老後の楽しみで同年代の方々とバドミントンやハーモニカを続けています。会員の皆様のご健勝と総会の御盛会を念願いたします。

(学校教育学54年卒 東京都狛江市在住)

堀内純子

総会・懇親会のご案内をいただきありがとうございます。維持会費納入、きょうかんを嬉しく読むだけの同窓生です。戦時中福島に疎開し、戦後宮城に移り中学、高校、大学と汽車通学をしました。現在の仙台、大学の立派なことに驚いています。学んだことを活かしてこれから元気にと願っている七七才になった同

窓生です。卒業して教職につきました(宮城県で十一年、山梨で二年)。教え子、同級生とは年賀状での近況報告です。大学での同級生は(専攻が同じ)四名で東北に二名関東に二名です。皆様の健勝を富士北麓の地より祈ります。

(学校教育学54年卒 山梨県富士吉田市在住)

安田養次郎

脊柱管狭窄症のため、歩くにも不自由です。御盛会を祈ります。

(学校教育学54年 東京都三鷹市在住)

菊地 明

この最も身近な、またとない同窓会を、母校の現職の方々、同窓生とその関係者等で情報交換と互助・共同の生涯学習の場と活用できないものかと常々考えております。実現したいものです。

(学校教育学55年卒 東京都東大和市在住)

志子田宣生

先約があり、残念ですが欠席いたします。ご盛会でありませうお祈り申し上げます。

(学校教育学55年卒 神奈川県横浜市在住)

高橋渥子

今回も維持会費のみ支払わせていただきます。きょうかんは活躍の方々の様子が判り、楽しく読ませていただきました。総会、盛会をお祈り致しております。

(学校教育学56年卒 群馬県太田市在住)

渡辺健郎

同窓会のご案内ありがとうございます。残念ながら先約の会合と重なり、今回は欠席させていただきます。皆様方のご発展を祈念しております。

(学校教育学56年卒 神奈川県横須賀市在住)

伊東雄三

年齢相応に元気です。理専ですので理学部の同窓会の会員になっています。皆様によりしくお伝えください。盛会祈り上げます。

(学校教育学57年卒 千葉県千葉市在住)

川野恵子

総会の日の頃いろいろ予定が重なり今回は失礼いたします。俳句 be

ginnerです。失礼ながら一句。◎木の葉ひらり落葉と見えしが蝶の舞

(学校教育学60年卒 埼玉県越谷市在住)

熊谷裕子

お知らせありがとうございます。平凡に暮らしています。

(学校教育学62年卒 東京都世田谷区在住)

松本正敏

二十周年記念関東地区同窓会おめでとうございます。出席できず申し訳ありません。ご盛会を祈念いたします。

(学校教育学63年卒 栃木県茂木町在住)

後藤 光

(勤務先) 東北大学産学官連携推進本部 高度技術経営人財キャリアセンター
キャリアアップ相談室長 特任教授

(学校教育学64年卒 神奈川県藤沢市在住)

渡辺登美子

ご盛会を祈ります。「きょうかん」の御案内等いつもお送りいただき

ありがとうございます。会費本振込みました。今後共よろしくお願いいたします。

(学校教育学64年卒 神奈川県横浜市在住)

鈴木保一

嘱託員5年目です。休まず勤めていることができています。

(学校教育学66年卒 東京都青梅市在住)

猪又和子

ご案内ありがとうございます。あの広々とした川内で人生のこと世の中のことなど語らい合ったことを懐かしく思い出しています。折角のご案内ですが先約があり出席できません。東北大学の発展と皆様のご健康をお祈りいたします。

(学校教育学66年卒 東京都江東区在住)

相馬敬司

はやいもので六五才とあいなりました。六〇才で四国へんろの旅へいき、五年生きながらえたので六五才で二度目のへんろにいくつもりです。自分をつつめ、人に生かされているしあわせを感じる旅です。今回は何に気づいてこれるのかたのしみ

です。今は、小説と畑にむかいあつてすごしています。

(学校教育学66年卒 東京都八王子市在住)

今野正保

関東地区同窓会の事務局を二期四年させていただき、バトンタッチをしました。いろいろな方にお世話になりましたありがとうございます。事務をしながら皆様からのお便りを読ませていただくと「自分も頑張ろう」という気持ちで湧いて来てよかったです。今は囲碁普及のボランティアを楽しくやっています。

(学校教育学66年卒 東京都世田谷区在住)

横館厚太

仙台を訪ねる旅では大変お世話になりました。母校のキャンパスは青く広くのびのびしていました。研究室の若い学生には思わず声をかけたくなりました。がんばって！

(学校教育学67年卒 東京都北区在住)

石森ミネ子

いつも連絡ありがとうございます。皆様のご活躍と会の発展、祈念いたします。

(学校教育学68年卒 東京都墨田区在住)

富永和彦

お世話様です。都合で欠席させていただきます。よろしく願っています。

(学校教育学68年卒 静岡県函南町在住)

関東地区同窓会事務局長

鬼 宗久

大型台風十一号迫る八月二十九日と翌三十日に私の属している東北大男声OB合唱団のコンサートに参加しました。品川教会と町田文化交流センターの会場で主に森みどりさんの作曲曲のものでした。聴衆の真剣な目と耳を傾けてくれる雰囲気の中私達は至福の時間でした。これから秋の合宿を挟んで来年二月のオペラシティでの第七回定期演奏会に向けての地道な練習が始まります。四十年以上前の大学生活を振り返ると挑戦の時代でした。クラブ活動の陸上競技の練習を評定河原のグラウンドでやり、国立七大戦や対北大戦で三段跳・砲丸投で入賞したり、特技の歌謡声帯模写で劇場の舞台上に立ったり、テレビに出演したりしたものでした。大学後半には作詞作曲

の二曲をレコーディングしてキャンペーン旅行もしました。その時のデュエット曲のパートナーと結婚して現在に至っています。若いときは何にでも挑戦することが大事だということをお母さんと息子一人に伝授してきました。二女・三女は中学バレーと春高バレーで全国優勝を果たし、長女は外食産業を卒業論に取上げ、それを実践して現在中野富士見町にイタリアンレストランを開業し十周年を迎えた。長男は陽の当たりにくい介護事業に目を向け介護シヨップをやっています。

ではまたいつか紙面が許すときには、私の変った「鬼」姓の由来や東北大文学部で教鞭をとっていた父鬼春人と「吉展ちゃん誘拐事件」の犯人の声分析で犯人逮捕のきっかけとなったことなどを述べたいと思います。

(学校教育学69年卒 東京都文京区在住)

この臨時増刊号は、第十回総会の出欠の返事のハガキに添えられたお言葉と総会後に寄せられたお便り等を掲載いたしました。氏名の敬称を省略させていただきます。